

第2回 松山市都市デザインワークショップ (2月8日@松山銀天街 GET!3 階)

『松山におけるまちなかの空間利用の可能性』をテーマに、第2回松山市都市デザインワークショップが開催され、地元まちづくり組織や民間事業者、交通事業者、地元大学、松山市の等の市民、約35名が参加されました。第1回のWSの振り返りの後、松山市の進めているまちづくりの取組みや他都市の取組み事例について、松山市より情報提供がありました。その後、各チームに分かれ、「まちなかで望むこと・やってみたいこと」及び、その実現のために「まちなか広場にあつたらいいもの」、について活発な意見交換がなされました。

■ワークショップの概要

日時：2014年2月8日(土) 14:00~16:30

会場：松山銀天街GET!3F

テーマ：『松山におけるまちなかの空間利用の可能性』

■当日のプログラム

1. 挨拶、趣旨説明

2. 松山市からの情報提供

第1回WSの振り返り、市の取組み・他都市の事例紹介(松山市)

3. ワークショップ

テーマ説明、イントロ

チーム作業前半 「まちなかで望むこと、やってみたいこと」

前回、松山にあつたらいいものとして、「憩いの空間」「イベントスペース」「情報発信の場」という意見が出ていたことを踏まえ、市民が自由に利用できる「まちなか広場」スペースがあつた時に、どういう利用の仕方がありえるかを議論する。

< チーム発表 : 前半 >

チーム作業後半 「まちなか広場にあつたらいいもの」

前半を受けて、望むこと、やってみたいことをするためには、どういうものが「まちなか広場」にあつたらいいかを議論する。

< チーム発表 : 後半 >

まとめ、事務連絡

■開会挨拶

松山市都市デザイン課の柳原企画官より開会の挨拶がありました。「松山市では、“歩いて暮らせるまちづくり”を目標に様々な事業を進めています。第1回WSでは、まちなかで休める場所や憩いの場所が少ないという指摘もありました。本日は、具体的にまちなかにあつたらいいなと思う空間とその使い方について、是非とも議論を深めていただければと思います。皆さん1人1人がまちづくりの中心となり、松山の発展を担う連携の輪となって広がっていくことを期待いたします。」と話されました。



■松山市からの情報提供

松山市からの情報提供として、松山市の中心市街地における取組み、及び他都市の先進的な取組みの事例について、都市デザイン課の仙波主任より説明がありました。

○松山市の中心市街地における取組み

第1回の復習も含めて、松山市が目指す“歩いて暮らせるまちづくり”に向けた考え方として、魅力的な拠点の形成と、拠点間をつなぐネットワークの考え方が紹介されました。また、現在松山市で行われている、市及び民間の取組みについて紹介がありました。その上で、「都市デザイン課として、これからのまちづくりは、公民学が連携してもっと相乗効果を求めていく必要があり、その土台としてシビックプライドを醸成し、地域主体のまちづくりを実現していきたいと考えています。」と説明されました。

○他都市の取組みの紹介

『みんなが居心地良くいられる場所 = 市民に開かれて、上手に使ってもらえる空間』という視点に立ち、富山市・柏市・佐賀市の3都市の取組みの事例が紹介されました。

1つ目の富山県富山市の富山グランドプラザは、全天候型の広場空間であり、市民に開かれた自由度が高い空間の事例として紹介されました。2つ目の千葉県柏市の、柏の葉アーバンデザインセンターは、誰でも自由に入出入り可能であり、地域模型や市民のギャラリーなどがあり、施設運営においても大学と連携している事例として紹介されました。3つ目の佐賀県佐賀市のわいわいコンテナは、空き地の活用として社会実験をしており、賑わい創出に大いに効果があつた事例として紹介されました。

これら3つの事例等を踏まえ、「松山にもみんなが自由に使える開かれた空間があつたら、どんなことがしたいか、できそうかをテーマに本日は考えていただきたい、と説明されました。



■ワークショップの内容



A～Dの4班に分かれ、チーム作業（※表面参照）を行いました。各チームのワークショップ作業により出された提案やアイデアをチームごと下記にまとめています。

■まちなかで望むこと・やってみたいこと

《A班》

- 《共有・交換》 本を持ち寄る図書コーナー、子ども服・おもちゃの交換、音楽CD等
- 《リラックス》 芝生広場や緑あふれる空間での休息 等
- 《グルメ》 うまいもの市・食べ歩き、オープンテラスでの飲食 等
- 《遊び場》 子どもを安心して遊ばせられる 等
- 《表現》 市民の表現を展示できる場、市民アート、地場産業の発表の場 等
- 《パフォーマンス》 劇団・アーティストの公演・ライブ 等
- 《アウトドア》 屋外でしかできないイベント、アウトドアの趣味 等



■まちなか広場にあってほしいもの

- 《まちなか広場の概要》 三番町の旧映画館跡地を想定。芝生の小山を中心に広場を構成。
- 《広場・機能のイメージ》 中央⇒芝生の小山（子どもの遊び場、イベント時にステージとしても活用）
テラスハウス⇒山を囲むように配置した平屋（ガラスで内部への見通しを確保・室内から子どもを見守り／内部は展示等に活用可能な多目的空間／簡易な厨房、トイレや授乳室等）屋上は、小山の様子を眺め下せる緑豊かな憩いのスペースに。
境界部分⇒柵はなく、誰でもふらっと立ち寄れる、開かれた雰囲気
- 《留意すること》 維持管理の負担を避け、なるべくシンプルに、設備も減らす。必要なものは市民が持ち寄り等

■まちなかで望むこと・やってみたいこと

《B班》

- 《個人の情報発信》 日頃頑張っていることの発表の場・作品の展示スペースの整備、移動式・稼働式のステージの設置 等
- 《松山の情報発信》 松山の「おいしい」が集まる場所、県内のご当地ショップ 等
- 《リラックス》 緑・芝生のある広場、休憩スペース、親水広場、屋上を活用した24時間自由に使える学習スペース 等
- 《グルメ》 オープンカフェ、屋台、フードコート 等
- 《交流》 フリーマーケット、産直市場、クイズイベント 等



■まちなか広場にあってほしいもの

- まちなかの場所性等を踏まえて、上記で整理した機能等の望ましい立地場所等を整理
→市駅前：県内のご当地ショップ、観光案内所、待ち合わせにも使えるシンボリックな空間整備
→商店街：展示スペースや休憩スペース等を分散配置
→番町小学校周辺：24時間自由に使える学習スペースを整備
→大街道交番交差点の大規模駐車場：緑あふれる広場を整備
→その他、千舟町通りの銀行跡建物の活用、大街道東側一番町辺りに飲み屋横丁の整備など
- まちなか広場に求めるもの
《まちなか広場の概要》大街道マツキヨあたりに整備（商店街を歩くなかで、ちょうど休憩したくなる場所）
《広場・機能のイメージ》 緑豊かな空間、シンボル（目印）の設置、半分屋外・半分屋内の空間（空は見たいけど雨はいや）

■まちなかで望むこと・やってみたいこと

《C班》

- 《情報発信》 車1台分のインフォメーション、秘密じやない基地（情報発信）
- 《表現》 市民の発表ステージ、市民×アーティスト、ファッションショー 等
- 《遊び場》 盆踊り、アスレチック、子連れで参加できるイベント、魚が見れる 等
- 《グルメ》 松山グルメ食べ歩き、地元農産物・特産物の物産コーナー、BBQ 等
- 《世代間交流》 高齢者の憩いの場、高齢者と子ども交流
- 《リラックス》 芝生広場でゴロゴロ、屋外でお茶・お弁当、昼寝・読書ができる
- 《オシャレ空間》 オシャレに感じられるオープンカフェ、水・音楽・光の空間



■まちなか広場にあってほしいもの

- 《まちなか広場の概要》 中央商店街周辺のコインパーキングを活用。コンテナを配置し、場所ごとに機能を分ける。
- 《広場・機能のイメージ》 大街道、銀天街の入口付近⇒情報発信ゾーン（中心市街地への誘導）
 - 子どもも楽しめる! 大街道周辺 ⇒海ゾーン（潤いの広場／ピオトープ、噴水、魚が見れるところ）
L字〜銀天街⇒森ゾーン（緑を感じてのんびり／ウッドデッキ、ハンモック、いす等）
 - おとなも楽しめる! 花園町通り ⇒光ゾーン（大人の隠れ家／イルミネーション、古い建物リノベ、バルと連携）
- 《共通するもの》 運営の拠点、コンテナ、バリアフリー、水道、トイレ、音響、ECO、休憩コンテナ 等
- 《大街道に対するアイデア》 大街道芝生化、公園的な憩いのスペース、盆踊り、全体的にシンプルかつオシャレに

■まちなかで望むこと・やってみたいこと

《D班》

- 《シニア層》 ウォーキングイベント、健康づくりイベント・空間 等
- 《ファミリー層》 フリーマーケット、子育て情報の発信、食育セミナー 等
- 《若者・学生》 商店街での屋台・出店 等
- 《世代間交流》 地場産業を通じた高齢者・孫との交流、高齢者の憩いの場、地域の人が先生となって公開講座（学びの場） 等
- 《自然空間》 自然に還れる空間、緑が生い茂っている空間 等



■まちなか広場にあってほしいもの

- 《まちなか広場の概要》 「食」を核としたまちなかコミュニティスペース。
千舟町周辺の駐車場付近の場所／てくるんの3倍程度の300㎡の規模を想定
- 《広場・機能のイメージ》 まちなか家庭菜園⇒自由に収穫。おじいちゃん、おばあちゃんと孫と一緒に収穫（食育）
まちなかキッチン⇒自分でつくって食べられるスペース・厨房（キッチンカー）／周辺飲食店による料理教室／料理で気軽にチャレンジショップ
寛げるスペース⇒緑、芝生、テーブル、ベンチ、イス、全天候型+オープンテラス
- 《工夫すること》 外から見えて面白そうと思えるアクティビティが見える空間・仕掛け
環境循環型の仕掛け（土に還る食器の使用 等）